

## はじめに

本報告書は、「平成18年度文部科学省委託調査研究 教職員の勤務実態に関する調査研究」の一環として平成18年7月から12月にかけて実施された「教員勤務実態調査」(以下、本調査)の結果をまとめたものである。

本調査が実施されたのは、「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」(平成18年6月2日公布・施行)により、政府の重要政策課題のひとつとして、教員給与の見直しが具体的に検討されることになったためである。この「行革推進法」では、「人材確保に関する特別措置法の廃止を含めた見直しその他公立学校の教職員の給与の在り方に関する検討を行い、平成18年度中に結論を得て、平成20年4月を目途に必要な措置を講ずるものとする」(第56条第3項)と規定された。つまり、従来の国における教員給与制度を構成してきた「人材確保法」の廃止までを含めた本格的な見直しを要請するものであるといえる。

この要請に対応するため、文部科学省は、平成18年7月に中教審・初等中等教育分科会のもとに「教職員給与の在り方に関するワーキンググループ」を発足させ、同時に、政策上の判断と制度設計に資するためのデータ構築の一環として、教職員の勤務実態に関する調査研究を企画した。

以上の経緯から、この調査研究においては、主として公立小・中学校教員の労働時間を調査する質問紙調査である「教員勤務実態調査」を行うこととした。この調査は40年ぶりに実施された全国的な大規模調査である。調査の概要については、詳しくは第2部を参照されたい。

本調査の実施体制としては、国立大学法人東京大学が文部科学省から研究委託を受け、さらに国立大学法人東京大学が株式会社ベネッセコーポレーション・Benesse教育研究開発センターに調査の実務面について再委託を行った。具体的には、私を研究代表とする研究チームが調査の企画・設計等を行い、株式会社ベネッセコーポレーション・Benesse教育研究開発センターが調査票の配布・回収・集計等を行った。

本報告書が、関係各位に多方面で活用され、教員の業務や給与体系に関する議論を行う際に、その一助となれば幸いである。なお、今回の報告は、単純集計と基礎的なクロス集計に基づいた分析を中心としている。

最後に、本調査の実施にあたりご協力いただいた各校および教員の方々、教育委員会事務局をはじめとする関係者に御礼申し上げます。

国立大学法人 東京大学大学院 教育学研究科  
教授 小川 正人

# 目次

はじめに ..... 3  
 目次 ..... 4

## 第1部 調査の目的および設計 7

第1章 教員給与改革の課題と教員勤務実態調査の意義  
 ——中央教育審議会・教職員給与ワーキンググループの審議に則して——  
 東京大学大学院 教育学研究科 小川 正人 ..... 9

第2章 先行研究と先行調査のレビュー  
 国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部 青木 栄一 ..... 19

第3章 調査協力校の選定について  
 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 山森 光陽 ..... 37

第4章 教員勤務実態調査用紙  
 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 山森 光陽 ..... 41

## 第2部 教員の勤務実態 45

調査の概要 ..... 47

1. 調査の目的 ..... 47
2. 調査の企画・設計 ..... 47
3. 調査対象 ..... 47
4. 調査時期 ..... 48
5. 調査方法 ..... 48
6. 調査票の種類および調査項目 ..... 49
7. 回収結果 ..... 50
8. 回答者の属性 ..... 51
9. 時間量の集計について ..... 54
10. 本報告書を読む上での注意事項 ..... 59

第1章 第1期(通常期)における勤務実態 ..... 63

1. 第1期の調査協力校の概況 ..... 63
2. 残業時間・持帰り時間および業務の内訳 ..... 64
3. 属性別にみた残業時間・持帰り時間 ..... 74

第2章 第2期(夏季休業期)における勤務実態 ..... 81

1. 第2期の調査協力校の概況 ..... 81
2. 残業時間・持帰り時間および業務の内訳 ..... 82
3. 属性別にみた残業時間・持帰り時間 ..... 94

第3章 第3期(通常期)における勤務実態 ..... 103

1. 第3期の調査協力校の概況 ..... 103
2. 残業時間・持帰り時間および業務の内訳 ..... 104
3. 属性別にみた残業時間・持帰り時間 ..... 114

第4章 第4期(通常期)における勤務実態 ..... 123

1. 第4期の調査協力校の概況 ..... 123
2. 残業時間・持帰り時間および業務の内訳 ..... 124
3. 属性別にみた残業時間・持帰り時間 ..... 134

第5章 第5期(通常期)における勤務実態 ..... 141

1. 第5期の調査協力校の概況 ..... 141
2. 残業時間・持帰り時間および業務の内訳 ..... 142
3. 属性別にみた残業時間・持帰り時間 ..... 154

第6章 第6期(通常期)における勤務実態 ..... 163

1. 第6期の調査協力校の概況 ..... 163
2. 残業時間・持帰り時間および業務の内訳 ..... 164
3. 属性別にみた残業時間・持帰り時間 ..... 176

第7章 通期でみた教員の勤務実態 ..... 185

1. 通期でみた残業時間・持帰り時間の実態 ..... 185
2. 職階別にみた労働時間の実態 ..... 194

# 目次

## 第3部 資料

199

調査票見本	201
1. 学校調査票 見本	202
2. 教員個人調査票 見本	203
集計表	209
1. 基礎集計表 (学校調査票・小学校)	210
2. 基礎集計表 (学校調査票・中学校)	213
3. 基礎集計表 (教員質問票・小学校)	216
4. 基礎集計表 (教員質問票・中学校)	219
5. 業務記録集計表 (第1期)	222
6. 業務記録集計表 (第2期)	235
7. 業務記録集計表 (第3期)	248
8. 業務記録集計表 (第4期)	261
9. 業務記録集計表 (第5期)	274
10. 業務記録集計表 (第6期)	287
11. 業務記録集計表 (通期)	300

## 第1部

# 調査の目的および設計